



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1995-96

Act with Integrity
Serve with Love
Work for Peace

真心の行動 ● 慈愛の奉仕 ● 平和に挺身
1995～96年度・国際ロータリーのテーマ／ハーバードG.ブラウンRI会長

●本日の例会

7月14日／第424回例会

■卓話「就任のご挨拶」

会 長 山 川 政 樹 君

幹 事 関 征 春 君

●先週報告

7月7日／第423回例会

■RI第2750地区丸山宏ガバナー公式訪問

卓話「公式訪問に際して」

ガバナー 丸 山 宏 氏



“ポール・ハリスとロータリー”

1868年ウインズコンシン州のラシーンで生まれたポール・ハリスは、アイオワ州立大学他で法律を学び、実社会を観察し、人生とは何であるかを学ぶため5年間様々な職業につき放浪生活を送った後、1896年にシカゴで法律事務所を開いた。荒廃した大都会シカゴの孤独な生活から「多くの異なった職業から一人だけをもって組織し、政治、宗教に関係なくお互いに寛容の精神をもって集まる親睦があるはずだ」と感じ、「実業人も必ず心からの友人になれる」ことを説き「職業の違う者が定期的に集まろう」と呼びかけ、1905年にシカゴでロータリークラブが結成されました。

1908年に第2番目のサンフランシスコクラブが、更に1910年には全米に16のクラブが誕生、これらのクラブを一つの組織体にする全国ロータリークラブ連合体が結成され、その後海を越えてカナダ、英国にまで広まり、国際的になるに及んで1922年国際ロータリーとなる発展を遂げ現在に至るのです。

ロータリーは、その哲学であり標語である「Service above Self」「最もよく奉仕する者、最もよく報われる」を実践行動することが大切であり、単なる理論・意識だけでは意味がありません。また個々のクラブは一つ一つ自主・独立性があり、RIの過度の干渉のなさがロータリーを全世界に広め発展させたものと思います。

RI会長も語っておられますが、ロータリアンは真心の行動を実践する模範者です。世界中が混沌とした時代に、ロータリーの会員数を増強することによって、この世界における正直、誠実、奉仕、真心の場であるロータリーを強化することが出来るのです。

また、私たちロータリアンは常に各家庭において、それぞれの業界や職場において高い道徳的基準を保ち、その範を示していかなければなりません。最後になりますが、貴クラブが素晴らしい奉仕の成果をあげられますことを期待しております。（まとめ 荒木）

■会長報告

①本日は早朝より、丸山ガバナー、上島地区副幹事、武井千代田分区代理をお迎えして懇談会(9:30～10:20)を、引き続き第2回クラブ協議会を開催することができました。

②前会長・馬場一廣君、前副会長・二宮利泰君、前幹事・後藤信夫君に1年間の労をねぎらって記念のバッチを贈呈しました。

③本日ご来駕いただいておりますガバナーより本年度地区委員委嘱状を次の会員の方々にお渡しいただきました。地区財務委員会委員長／田辺賢三君、地区青少年交換副委員長／四分一勝君

地区国際友愛副委員長／沖 宏之君、地区インターアクト委員会委員／青野信次君

④ガバナーより、95～96年度地区大会(96.3.8～3.9)の会場・新高輪プリンスホテルを、浦安市・東京ベイNKホールに変更したい旨の連絡がありました。テリトリー外開催の場合、各クラブの過半数の同意が必要とのこと。変更の理由は経費節減と、ロータリーの原点に帰って簡素化を志向するものです。会員の皆様のご異議がなければ賛成と回答させていただきます。

■雑誌委員会報告(横山委員長)「ロータリーの友」7月号読み所紹介

①「新ガバナーの横顔」当2750地区丸山宏ガバナーのご紹介記事。(横組33頁)

②当クラブ「チャリティーバザー」(94.12.7)の記事と写真。(横組58頁)

■慶事披露●誕生日祝：西澤正雄君・大日方真君(7月12日)

●100%出席：大日方真君(8年)、柴藤清三郎君(7年)、横山秀明君(5年)、福田恭三君(1年)

■出席報告●会員69名・出席48名・欠席21名

来 賓(3名・敬称略)／ガバナー・丸山宏(東京銀座)、地区副幹事・上島真一郎(東京銀座)、千代田分区代理・武井考蔵(東京芝)

ビジター(4名・敬称略)／藤田義嗣(長浜)、広瀬光良(東京新宿)、飯野公一(東京城西)、小川恵也(東京南) ゲスト／金 榮燦さん(米山奨学生)

順不同、敬称略

7月7日／23件 ¥85,000円

多額の御寄付を有難う

ございました。

相澤成憲、青野信次、荒木昭文、馬場一廣、福田恭三、岩瀬秀郎、小湊雅亮、丸山忠典、村川 優、沖 宏之、大日方真、関 征春、柴藤清三郎、新保國彦、田中 武、谷村義雄、田辺賢三、渡邊 治、渡部一元、横山秀明、吉田用親、山川政樹、山下忠治
紙面の都合上、コメントは省略させていただきました。

ニコニコBOX

●ガバナー公式訪問 第2回クラブ協議会

と き 95年7月7日(金) 10:30~12:15

ところ 東京全日空ホテル B1 青雲の間

出席者 来賓/丸山ガバナー、上島地区副幹事、武井千代田分区代理、
会員/37名

テーマ 「社会奉仕活動と会員増強」

社会奉仕活動 入沢社会奉仕委員長

本年度は「話しましょう、聴きましょう、防災対策」の活動を行う。社会奉仕委員会は地域ニーズに合ったテーマを探すのが最も大切であり、過去社会奉仕委員会はどのような考えでテーマを決め、どのような活動をしたのか、まず3人の元委員長よりお話をいただいた。

「アイメイトについて」 河原会員

当クラブの社会奉仕活動は、創立3年目から現在までアイメイト協会の支援を軸にして継続してきた。同協会を対象に選ぶについて、ロータリーにおける奉仕活動の目的、問題点、正しいあり方等を討論し、全員の賛同を得た決定手続、実施方法に従って行われた。最も大切なことは、独善的な奉仕ではなく、相手を尊敬し相手の立場を理解した共感の生れる奉仕と言うことを基本においた。長く全員の賛同を得られたのは、この基本的なコンセプトに共感があったからかも知れない。前年度は、障害のある方と交流してその共感の中からお互い対等の人間として尊敬し、共生して行く道を勉強させて頂いた。今後、継続の美点と問題点を検討する必要がある。

「泉の家について」 大日方会員

社会福祉法人泉会の授産施設泉の家との交流は4年前に始まった。授産施設は、障害を持つ人が技能を身につけ社会復帰することを助ける施設である。初年度は脳性麻痺の障害をもつ人数人を例会とチャリティコンサートに招待した。2年目は、施設の作品数百点を購入して港区のバザーで販売した。3年目は、クリスマスにあわせて、施設の人に個々に希望を聞いて全員に希望の品をプレゼントした。前年度は、20数名の全員が秋に泉の家を訪ねて障害を持つ人から技能訓練を受けるという体験をした。また、30万円を寄付し「思いやり賞」を設けていただいた。今後クリスマスの前後に、施設の何人かの人に毎年思いやり賞が送られるはずである。

「その他の社会奉仕活動について」 武下会員

初年度の広尾公園時計塔設置に始まり、前年度の阪神大震災・北海道東方沖地震各義援会、麻布小学校で環境について意識調査まで、17件の活動を行った。

続いて本年度の社会奉仕活動について入沢社会奉仕委

員長より、本年度メインテーマの「防災対策」となった背景、取り組む視点、具体的活動に関する説明があった。

特に地震をテーマに防災対策を考え、地域行政の活動・啓蒙運動等を調査研究し、行政と住民参加の会員勉強会を行う予定である。

また、継続事業も行いつつ地域社会のニーズを掘り起す地域調査小委員会(仮称)を設置し、多年度にわたる継続委員会としたいとの考えを示された。

会員増強 田中会員増強委員長

本年度のRI、地区、当クラブの重点目標である会員増強は、経済情勢からみてもかなり厳しい状況が予測されるが、全会員の理解と協力を得て、また委員会は会員が新会員の推薦がしやすい環境作りを役目とし増強を推進したいとの説明があり、本年度増強目標9名(純増6名)を掲げられた。具体的には次の活動方針で増強運動を展開するとのことである。

「職業分類からみて」 宮武会員

未充填の4つの大分類及び区域に相応しい中分類小分類の中から、ターゲットを絞って会員増強に努めなければならない。また当クラブの会員の職業を生産、配布、小売、サービスという産業の4部門に当てはめると、サービス部門が過半数を占める実態は、産業バランスの面からも一考を要する。

「クラブ・アイディンティティから」 小原会員

クラブのアイディンティティを浮彫りにし、会員増強用のパンフレットを製作し有効活用を計ってはどうか。

「退会防止について」 馬場会員

地区ガバナーの「原点に帰りロータリーの心を学ぼう」を会員一人一人が良く理解し、ロータリアンとしての誇りと共感の自覚が退会防止の基本である。

続いて田中会員増強委員長より、全会員を9つのグループに分け1グループで一人の新会員の推薦をする“Each Group Reach One”作戦を本年度の運動とする旨の説明があった。(まとめ 荒木)



●7月臨時理事会 議事録

と き 95年7月7日 例会後13:40~13:50

ところ 東京全日空ホテル B1 八雲の間

出席者 山川、入沢、河原、柴藤、吉田、
柳澤、新保、関

決議事項

1. 田辺賢三君をアドバイザーに選任。

●次週予告

7月21日/第425回例会

■卓話予定「就任のご挨拶」

クラブ奉仕委員長	柴藤清三郎 君	社会奉仕委員長	入沢 頼二 君
職業奉仕委員長	吉田 用親 君	国際奉仕委員長	鈴木 重徳 君

東京新南ロータリークラブ

会長：山川政樹 副会長：柴藤清三郎 幹事：関 征春

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

荒木 昭文、清原 元輔、青野 信次、
植田 和男、後藤 信夫、新保 國彦、
相澤 成憲、吉田 用親、高橋 良土、
吉岡 琢磨、大村 富俊(編集担当順)